

社会的責任と貢献活動

明日の漁業を担う「人」を育成します

深刻な漁業の担い手不足を解消するため、平成8年度に「島根県漁業就業者確保育成センター」を開設して以来、平成19年度末までの新規就業者数は、センターの漁業就業者発掘作業により雇われのIターンの方を主体に187人となっております。

一方で、平成15年度から始まった自営漁業者への育成等支援事業により、自営としてU Iターンの方を主体に35人（漁業・漁村体験研修後に雇われの1名は上記に含む）が研修を修了しております。

また、この事業では研修生が、地区外のベテラン漁業者等から直接技術指導を受けることにより、より最新の漁業技術や知識を習得する場として「レベルアップ研修会」を開催しております。

近年、都会地からの新規参入者を迎えるには厳しい状況にありますが、引き続き、情報発信の充実、受入体制の強化や離職者を出さない環境整備に加え、県内における担い手確保対策を更に充実させた事業を展開していく所存であります。



レベルアップ研修会



漁業就業支援フェア

安心・安全・新鮮な島根の魚を届けます

食育活動

一般消費者にしまねの魚が新鮮でおいしいことを知ってもらい、家庭の食卓にしまねの魚が上る機会を増やすことを目的に、保育園児、幼稚園児・保護者、小学生、一般の参加者を対象とした「お魚さばき隊」による魚のさばき方教室を松江市、大田市、浜田市、隠岐の島町で開催しました。

各会場では地域の漁協女性部の方々に講師を務めていただきました。保育園児を対象とした隠岐の島会場では、子どもたちは準備された魚に大変興味を持ち、実際に魚に触れ、講師に付き添われながら一人一人がさばきました。出てきた血を見て「こわい〜」と手を引いたり、お腹から出てきた内臓に目を背けて取り除く子供もいれば、大人顔負けの包丁さばきの子もいて様々でした。

1匹の魚を捌くことから魚の新鮮さ、おいしさを知り、魚に興味を持ち、食べよう・食べたいという意欲につながり、しまねの魚がいろいろな料理として家庭の食卓をにぎわすことを期待しています。



隠岐の島町での開催の様子



松江市での開催の様子



大田市での開催の様子



浜田市での開催の様子